

様式第十五（第12条関係）

認定事業参入計画の内容の公表

1. 認定をした年月日

平成30年10月19日

2. 認定事業参入事業者名

株式会社農業情報設計社

3. 認定事業参入計画の目標

(1) 事業参入に係る事業の目標

当社代表者は、当社起業前に国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）で、農用車両の自動化・情報化に係る研究開発を行っており、農業機械内部の通信技術の国際標準に対応した作業機制御技術の開発を行ってきました。この経験を活かして、平成26年に、「より良い農業へのチャレンジを支える」を経営理念に掲げ、農業における情報通信技術の利用に係る研究開発と知見の提供業務を主な業務として、当社を設立しました。

当社は、平成27年に、「AgriBus-NAVI」というスマートフォン・タブレット向けトラクター等の運転支援アプリ（以下「運転支援アプリ」という。）を開発、配布・販売を開始しました。この運転支援アプリは、平成30年度現在、総ダウンロード数が全世界で9万件を超え、世界的に普及しています。

今般、この運転支援アプリに対応するGNSS装置、自動操舵機器を新たに製造し、「直進・自動操舵装置」として販売を行います。この装置は、既存のトラクターに取り付けることで、トラクターの位置と方向を把握し、自動操舵によって直進運転をアシストする装置です。これにより、目印のない広い圃場でも真っ直ぐ・等間隔に作業することが可能となり、作業負担が大幅に低減されます。また、圃場内の重複作業や作業漏れによる肥料・農薬散布の無駄・ムラを防止し、資材費低減につながります。

(2) 良質かつ低廉な農業資材の供給又は農産物流通等の合理化に関する数値目標

平成33年9月末までに直進・自動操舵装置（GNSS装置、自動操舵機器）の累計国内販売台数を計45,000台にすることを目標とする。

4. 認定事業参入計画に係る事業参入の内容

(1) 事業参入に係る事業の内容（良質かつ低廉な農業資材の供給の内容を含む。）

① 事業参入計画の対象となる事業

農業用機械製造事業

② 事業参入計画の具体的内容

運転支援アプリに対応可能なGNSS装置、自動操舵機器の製造及びアプリと併せた一体的な「直進・自動操舵装置」としての販売を新たに行います。

(対象機器の概要)

直進・自動操舵装置は、以下の三つで構成され、これらをトラクターに取り付けることで、直進運転のアシストが可能となり、圃場内の作業の重複や作業漏れを防止できます。これにより、燃料の削減、農薬や肥料などの過剰散布の防止が図られ、農家の資材コストを削減することが可能となります。

・運転支援アプリ（AgriBus-NAVI）

運転支援アプリは、自社で開発し、既に配布・販売しています。これは、スマートフォン・タブ

レット用アプリで、GNSS を使ってトラクター等の位置と方向を把握し、直進運転をアシストするものです。肉眼では確認できない散布跡や走行軌跡が俯瞰的に地図上で表示され、走るべき箇所が赤線で示されます。

また、農作業記録・情報表示機能を有しており、作業を行った箇所を記録できるので、肥料や薬剤の補給などで機械作業を中断して移動しても、中断した箇所から作業を再開することが可能です。

今後は、作業機操作技術に係る機能を追加し、耕うん・施肥・播種・薬剤散布等を行うアタッチメント機器（作業機）の操作も可能とする予定です。これが実現すれば、肥料・農薬散布等の操作をアプリ画面からできるようになるほか、現在位置と連動した施肥量の調整などのより高度な作業を実現できます。

・GNSS 装置 (AgriBus-G+)

AgriBus-G+は「高精度 RTK-GNSS 機能」と「IoT 機能」及び「作業機への車速出力機能」を搭載したハードウェアです。これは、運転支援アプリに対応しており、既存のトラクターに搭載して、運転支援アプリをインストールしたスマートフォンやタブレットと Bluetooth で接続することで、低価格でスマートフォン等に内蔵の GNSS よりも、精度の高い位置情報を利用できます。

具体的には、「高精度 RTK-GNSS 機能」はセンチメートル単位の精度の高い GNSS で、より精度の高い走行や作業のアシストが可能になります。「IoT 機能」は、携帯電話網と長距離低電力無線技術を用いて、現在位置やトラクターの姿勢、施肥量や薬剤散布量といった作業機の動作状況などのデータを自動的に取得し、インターネットへ送信することで、それらのデータを保存・利用可能とする機能です。「作業機への車速出力機能」は、車速に連動した電気的なパルスを出力する機能であり、対応する作業機に接続することにより、走行速度が変化しても施肥や薬剤散布がむらなく一定に散布することに役立ちます。これらの機能により、経験の浅い農業者であっても、広い圃場で真っ直ぐ・等間隔に作業をすることが可能になります。

また、拡張性が高いため、内蔵ソフトウェアをアップデートすることで、将来予定している作業機自動制御技術等の機能追加にも対応することが可能です。

・自動操舵機器 (AgriBus-AutoSteer)

運転支援アプリに対応した、既存のトラクターのハンドルに取り付けるタイプの低価格な自動操舵機器（設定した軌跡に沿った走行を自動的に制御）です。これにより、手放しても自動で操舵し、真っ直ぐ・等間隔な走行・作業を行うことが可能です。どのメーカーのトラクターにも後付け可能であり、新たに自動操舵専用のトラクターを購入する必要がないため、低コストで労働生産性を高めることが可能です。

③ 良質かつ低廉な農業資材の供給の内容

当社が販売する製品は、機能が同程度の既存製品に比べて、低価格での供給が可能であることから、導入コストを抑えることができます。また、大手メーカーのトラクターを GNSS 自動操舵機能付きトラクターとする場合と比較しても、大幅にコストを抑えることができます。

(2) 事業参入を行う場所の住所

株式会社農業情報設計社 本社：北海道帯広市西 8 条南 40 丁目 1 番 6 号

(3) 関係事業者又は外国関係法人に関する事項

該当なし

5. 事業参入の開始時期及び終了時期

開始時期：平成 30 年 10 月～終了時期：平成 33 年 9 月